

株式会社諸岡

製造業

更なる女性活躍推進に取り組み、諸岡ブランドの浸透を目指す



■会社概要

設立：1958年3月

本社所在地：龍ヶ崎市

代表者：代表取締役 諸岡 正美

常用労働者数：女性56名、男性174名、計230名

役員に占める女性の割合：0% (0/56(人))

管理職に占める女性の割合：8% (5/56(人))

平均勤続年数：女性6年、男性6年

平均残業時間：4.1時間/月

有休休暇取得率：69%

育児休業取得率：女性100%、男性0%

(令和3年1月時点)

これまでの取組

これまで、次世代育成支援対策推進法に基づき策定した行動計画で定めた「男女共に育児休業取得率・有給取得率の向上」や、「時短勤務制度の導入」を中心に取組を進めてきた。

現在の課題

既に管理部門において女性管理職はいるものの、製造部門や生産管理部門は0名と、職種や部門によってばらつきが顕著である。

採用時における男女別競争倍率・男女の勤続年数に大きな差はみられないが、管理職に占める女性の割合が低く、女性自身のキャリアアップに対する意識も弱い。

新たに設定した目標・取組

一般事業主行動計画 概要

計画期間：令和2年10月1日～令和7年9月30日

■目標：管理職（課長級以上）に占める女性割合を30%以上にする。

■現状課題：女性管理職割合が低く、管理職を目指す女性も少ない。

■取組内容

- 女性管理職候補者に対し、リーダー育成研修を実施。
- ライフイベントに合わせて継続的なキャリアを積むことが出来るよう、多様な働き方を選択出来る制度を導入。
- 時間当たりの労働生産性を重視した人事評価による、育児休業・時短勤務等の利用に公平な評価制度の整備。

■策定に当たっての工夫

ここ数年での急激な企業成長で、女性管理職の登用も積極的に行ってきた。

これを追い風としながら、益々の女性活躍推進に取り組んでいけるよう、職務領域の拡大・働き方の選択・公平な評価制度の導入を図る事で、多くの社員に管理職を目指してもらえるよう、キャリアパスの明確化を中心とした取組み内容を設定した。

目標・取組内容を固める際にも、人事総務担当だけでなく、従業員や担当社労士を交えての意見交換の場を作り、事前に取り組み主旨を説明。実現性の高い内容とした。

期待する効果

既に女性管理職として活躍している女性社員をロールモデルとしながら、実現性の高い行動計画内容を設定することで、女性社員の意識改革に繋がる期待が大きい。

■代表メッセージ

当社はSDGsの達成に向け「5ジェンダー平等を実現しよう」を主要テーマの一つとして掲げています。働き方改革を進めながら、女性の能力を伸ばし可能性を広げることにより活躍の推進をはかり「えるぼし」認定を目指します。またダイバーシティ経営を推進しながら持続可能な成長を続けてまいります。



代表取締役
諸岡 正美 さん